

2. 目標達成計画

事業所名 グループホーム アルプス

作成日 令和5年2月6日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	終末期(看取り)についての指針はあったが、重度化の指針がなかった。	法人としての重度化の指針を作成する。	本院の医者を中心に看護師を交えて重度化の指針について取り決める。	3ヶ月
2	26	チームとしての介護計画・モニタリングが出来ていない。介護支援専門員が本人・家族への聞き取りのみの計画作成をしている。モニタリングも全体では行っていない。	介護計画を作成したら、職員全体で確認していく。モニタリングは居室担当を中心に全員からの意見を取り入れていく。	新規入居者様の計画はこれまで通り行い、更新の方の計画は担当職員を中心に計画の見直しを行う。モニタリングは職員会議の時に時間を設けていく。	3ヶ月
3	45	入浴は週3回個浴で実施していたのですが、入浴でも季節を感じる取り組みがある事を知った。	これまで通り個浴でゆっくり入浴を楽しんでいただくだけでなく、季節を感じる取り組みをしていく。	四季折々の草花や湯治の時に銭湯で提供している菖蒲・ゆずなども浴槽に入れていきたい。又、ハーブ等も香りを楽しむのに適していると思われるので活用していく。	6ヶ月
4	49	コロナ禍で中止となっている。花見、買い物、外食、食事会、ドライブ	感染等を考えると、初めにドライブから再開していく。	ドライブの時は法人のデイケアの車を借りる為、計画を立て、デイケアとの調整を図る。	12ヶ月
5	2	コロナ禍の影響により地域とのつながりがなくなっている	国の政策として今年5月よりコロナが5類となるとの事ですので以前のように本院での認知症カフェ開催へとつなげていく。	認知症カフェ開催は、運営推進会議でも開催を望む声が多い為、感染対策等に注意し、開催できる環境を整える	12ヶ月
6	6	身体拘束の研修は行っているが、講師を招く法人全体としての研修がなく各人が動画研修を行っている。その為、個人の理解度等に差が生じている。	法人全体として研修を行う事で指針を示し全体としての共有を図っていく。	身体拘束がダメと言うだけでなく、事例検討を行い明確な対策を示す。法人全体としての共有を図っていく。	12ヶ月
7	35	災害の訓練は年2回実施されている。施設として連絡網はあるが、その連絡網が実際緊急時に役立つか定かでない。	災害時に役立つ連絡網の作成をする。法人全体としての連絡網を作成し、いつでも平常通りに動けるようにしていく	各部署ごとに緊急時の連絡網の作成をし、法人として災害時に役立つ仕組みづくりをしていく。	12ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。